第12回（2022年第1回）東京医科大学病院　監査委員会議事要旨

1　日時：2022年10月17日（月）　18時30～20時00分

2　場所：東京医科大学病院　9階　臨床講堂

3　出席者：【委　員】落合 委員長、安原 委員、桑原 委員*1
【病院側】山本 病院長、菅野 医療安全管理責任者、
三島 医療安全管理室室長、浦松 医療安全管理室副室長、
高橋 医療安全管理室室員、梶 医療安全管理者、
竹内 医薬品安全管理責任者、犬伏 薬剤部主査、
内野 医療機器安全管理責任者、山田 臨床工学部技士長、
齋藤 医療放射線安全管理者、日向 放射線部技師長
渡邉 感染制御部部長、石川 総合相談・支援ｾﾝﾀｰｾﾝﾀｰ長、
内野々 総合相談・支援ｾﾝﾀｰ専門員、伊藤 臨床研究支援ｾﾝﾀｰｾﾝﾀｰ長、
醍醐 事務部部長、松下 総務課課長、
※名前の後に *1のあるものはWeb参加

4　議題：
(1) 山本 病院長の挨拶
(2) 落合 委員長の挨拶
(3) 報告事項および監査について
2021年度下半期報告事項
①医療安全管理報告
②医薬品安全管理報告
③医療機器安全管理報告
④医療放射線安全管理報告
⑤感染対策について
⑥患者相談窓口について
⑦高難度新規医療技術導入制度について

5　監査項目：
①菅野 医療安全管理責任者より医療安全管理体制として、2021 年度下半期のインシデント報告、院内病因・死因検討会検討事例、院内医療事故・有害事象調査委員会報告、医療事故調査制度調査事例、医療機能評価機構医療事故情報収集事例等事業への事例報告、医療安全研修会についての報告
②竹内 医薬品安全管理責任者より、2021年度下半期の当院における医薬品に係るPMDAの副作用報告、医療安全研修会についての報告（免疫チェックポイント阻害薬による副作用）、麻薬ワーキンググループの設置についての報告
③内野 医療機器安全管理責任者より医療機器安全管理責任者の責務に関する説明、各種

研修実績に関する報告

山田 医療機器安全管理実務者より医療機器安全使用のための職員研修（新人研修・医療安全研修会）、医療機器の保守点検、医療機器添付文書の管理、安全性情報の収集と周知、医療材料の不具合報告、改善のための方策についての報告

④齋藤 医療放射線安全管理者より今回より委員会に参加する旨の報告

日向 放射線部技師長より、医療放射線に係る安全管理体制の構築、放射線知識の教育・訓練、被ばく線量管理・低減、画像情報共有システムの構築、ＡＩによる画像診断の向上についての報告

⑤渡邉 感染制御部部長より当院の新型コロナウイルス感染対策、耐性菌検出状況、院内の感染対策、厳重警戒菌の発生についての報告

⑥石川 総合相談・支援センター長より患者満足度調査、受付事務員の接遇改善、身だしなみに関する現状について報告

⑦伊藤 臨床研究支援センター長より、高難度新規医療技術導入制度、2021 年度下半期の新規申請、実施件数、有害事象事例、ＴＡＶＩ検討会、今後の課題について報告

6 監査結果：

① 医療事故調査制度における医療事故の定義に、『管理者が死亡等を予期しなかったもの』が含まれている。判断の主観性が増し、制度非該当の判断へ偏りが出ることがないよう注意されたい。

② 3b 未満のインシデント報告数が増加していることは評価できる。次の取り組みとして、報告者の経験年数などでフィルターし、報告率の低い層へ指導を行うことを検討されたい。

③ 免疫チェックポイント阻害薬は、所謂抗がん剤などとは異なり認知度の低い薬品である。これを使用する場合は事前に説明を行うことで、副作用が出た際などに、患者の受け取り方も大きく変わると思われるので、十分な事前説明を検討いただきたい。

④ 今回のシンチ配合の事例など、医薬品と放射線といった複合的な側面に絡んだ安全管理が今後増加すると考えられる。以後十分注意されたい。

⑤ 他大学と比較すると、東京医科大学病院の手指衛生回数は評価できる。ＭＲＳＡ発生の基準なども考え、引き続き実施回数 30 回以上としていけるよう努めてもらいたい。

⑥ 患者満足度調査の結果として事務方の満足度が 50%程度と低かったが、患者に接する窓口として事務方の接遇は安心して医療を受けるために必要な要素であると思われるため、引き続き接遇改善に努めてもらいたい。

⑦ 従来の患者満足度調査などとは別に、患者として入院経験のある職員を対象としてアンケートを実施することで、従来にない目線で病院を評価することが可能であると思われるため、検討されたい。

⑧ 先進的で高度な医療を行う場合、相応のリスクが伴うものだ。その部分について十分な説明を行い、病院側と患者側の相互理解のもとで取り組むことが大変重要であると思われるため、今後とも意識していただきたい。

7 委員長より総評：

本日の報告により、東京医科大学病院がしっかりと医療安全に取り組んでいることが理解できた。

今後は、報告されたインシデントの、特に軽微な例をよく掘り下げることで、より根源的な部分に潜む原因分析が可能になると思われる。ぜひご検討いただき、今後に活かしていただきたい

また、医療安全には多職種が係るものですが、今後は医師の負担軽減としてタスクシェアが増え、コメディカルが医療現場に直接的に携わる場面が増えてくると思います。それは言わばリスクもシェアされた状態であると思いますので、そういった状況に対応できるよう研修機会の充実についても是非検討していただきたいと思います。

8　配布資料：

①2021 年度下半期　医療安全管理報告
②2021 年度下半期　医薬品安全管理報告
③2021 年度下半期　医療機器安全管理報告
④2021 年度下半期　医療放射線安全管理報告
⑤2021 年度下半期　感染対策について
⑥2021 年度下半期　患者相談窓口について
⑦2021 年度下半期　高難度新規医療技術導入制度について

記録者：総務課